



鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第106号

2020年7月1日

令和2年度年次総会を伏見稻荷大社で開催

事業報告・計画および決算・予算等を審議・承認

新理事に長谷川泰洋氏が就任

令和2年度総会並びに特別講演を、6月13日(土)に伏見稻荷大社(京都市)で開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言の発出や外出自粛要請を受けて、当初の秩父神社での開催を来年度に延期し、さらに5月末に予定していた開催日をこの日に変更するなど、異例の状況の下、理事を中心に20人を超える会員が出席、無事、総会審議、特別講演を終えることができた。

総会では、出席が叶わなかった菌田稔理事長に代わり渡辺弘之副理事長が開催挨拶。正会員総数207名のうち委任状を含む114名の出席を得て総会の成立を確認した後、塩谷崇之理事を議長に選出し、2019年度事業報告・収支決算、令和2年度事業計画・収支予算、理事の退任、新任、重任について審議承認した。さらに、新型コロナウイルス感染症流行下における会合等の開催に対する社叢学会の方針発出について、社叢インストラクター資格更新について等を報告した。

今年度は今後の状況が定まらない中でも、下記の方針のもと、できる限りの対策を講じた上で事業を推進していくこととした。これらの事業執行のための予

算については、最大の事業である総会開催時の研究発表、シンポジウム、見学会が中止となり、縮小均衡となったが、了承を得た。

また、井上満郎理事は設立当初より理事として尽力いただいたが、予てより退任の意をもらされていたことからこれを了承、同時に中部支部でご活躍の長谷川泰洋氏を理事に選任した。また、櫻井治男理事を中部担当副理事長とすることとした。今後、井上氏には顧問就任を依頼する予定。

続いての特別講演では岡村穰理事が「古代エジプト・ギリシャ・インド・北魏・隋・初唐のSacred Grove、遣隋使の役割及び疫病流行への対応について」と題して、古代インドの樹霊信仰や社叢に関する記載が満載の「洛陽伽藍記」(北魏)を紹介。善行を行い徳を積むという大乘仏教の福田思想が中国に伝播、これが疫病などによる社会不安が渦巻いていた日本に伝わり、行基の社会活動に結び付いたと述べた。また、平城京には神社がなかったことを紹介、参拝の場として京中に精舎が築かれ、山林は修行の場とされたことから、鎮守の森始まりは奈良・手向山八幡宮ではないか? など、考察の一端を紹介した。

社叢学会が主催する定例研究会等の会合開催について

社叢学会が主催する定例研究会等の会合は、学会員の社叢に関する問題意識を高め、情報共有する場としてきわめて大きな意義をもつものであると考えています。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行状況等を勘案し、以下の条件のもと、最大限の対策を施した上で開催することといたします。

1. 府県をまたがる移動については、十分に留意する
2. 室内での三密を避ける意味もあり、できるだけ野外での観察会を中心に立案する
3. 参加については要予約を徹底する

なお、参加に際しては、マスクを着用し、手指のアルコール消毒にご協力ください。また、発熱等、体調不良の場合は参加を見合わせてください。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催 関連事業の開催	年次総会・シンポジウム・研究発表会 高千穂神社と周辺神社参拝	6月 22日 6月 23日	太宰府天満宮 高千穂神社等
理事会の開催 (3回) 第57回 第58回 第59回	2019年度総会開催 等 令和2年度総会開催について 等 令和2年度総会運営 等	6月22日 12月25日 3月15日	太宰府天満宮 真和総合法律事務所 社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 第84回 第85回 第85回 関東 第82回 第83回 第84回 第85回 中部 第34回 第35回	賀茂別雷神社(上賀茂神社)参拝と社叢拝観 京都の伝統行事を支える森林資源利用 社叢としてみた百舌鳥古墳群 説明と古墳見学 日本の自然林 一分布と動態一 鬼と仏一日本人の信仰の姿一 震災を経ても土地に生きる 一南三陸町波伝谷、12年間の映像記録を通じて 玉川上水生き物調べ 一タヌキと花マップ一 加佐登神社の社叢と白鳥塚古墳 天武天皇大嘗祭の悠紀斎田を巡って	7月27日 9月28日 11月27日 4月20日 7月27日 10月26日 1月25日 10月26日 3月 1日	賀茂別雷神社 伏見稲荷大社 百舌鳥古墳群 國學院大學 國學院大學 國學院大學 國學院大學 加佐登神社・白鳥塚古墳 渋川神社・直會神社
社叢保存活動	水度神社社叢管理事業 社叢見守り隊事業	8月26日 通年	水度神社 関東(武蔵国) 関西(神戸市西部)
梅田善美助成金震災復興 プロジェクト事業	東日本大震災被災社叢復興支援事業報告書の出版	7月	本部事務局
会員証発行	会員約420名分	通年	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」(A4判・4～6ページ)	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』(A4判・87ページ)	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業 資格更新の認定	資格更新を承認	3月 15日	本部事務局
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,062,000		総会関係費	669,916	
市民会員会費	160,000		定例研究会費	169,786	
賛助会員会費	1,500,000		会報「鎮守の森だより」関係費	319,844	
協力会員会費	540,000	3,262,000	会誌『社叢学研究』関係費	420,000	
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費	40	
社叢インストラクター養成事業	5,000		梅田善美震災復興プロジェクト事業	1,239,640	
社叢管理	187,800		社叢管理事業	134,490	2,953,716
書籍販売	419,700		2 管理費		
総会関連事業	571,000	1,183,500	雑給	1,800,000	
3 委託金	1,000,000	1,000,000	旅費交通費	154,660	
4 雑収入			通信費	186,045	
受取利息	8		地代家賃	915,600	
その他寄付金	360,000	360,008	租税公課	0	
			事務用品費	91,520	
			支払手数料	62,125	
			水道光熱費	5,921	
			雑費	0	3,215,871
当期収入合計(A)		5,805,508	当期支出合計(B)		6,169,587
当期収支差額(A)-(B)					-364,079
前期繰越支出差額(C)					689,029
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					324,950

第3号議案

令和2年度事業計画書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業名	事業内容実施	予定日等	実施予定場所等
通常総会の開催	年次総会・特別講演	6月13日	伏見稲荷大社
理事会の開催		3回程度	本部事務局等
定例研究会の開催 関西定例研究会 関東定例研究会 中部定例研究会 福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発	9月・21年3月 10月・21年3月 1回程度 1回程度	伏見稲荷大社 他 國學院大学 他 太宰府天満宮 他
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	全国
梅田善美震災復興プロジェクト事業	東日本大震災被災社叢復興支援事業報告書の配布	通年	本部事務局
会員証発行	令和2年度会員証約400名分	5月～	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」情報と研究会報告	奇数月月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』研究論文と情報	2021年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクタークラブの運営	2021年2～3月	
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第4号議案

令和2年度収支予算書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,080,000		総会関係費	30,000	
市民会員会費	160,000		定例研究会費	150,000	
賛助会員会費	1,500,000		「鎮守の森だより」関係費	350,000	
協力会員会費	550,000	3,290,000	『社叢学研究』関係費	350,000	
			社叢インストラクター養成事業費	50,000	
			社叢管理事業	3,000	933,000
2 事業収入			2 管理費		
社叢インストラクター養成事業	35,000		雑給	1,200,000	
資格検定料・認定料	15,000		旅費交通費	100,000	
養成セミナー等参加料	20,000		通信費	170,000	
書籍販売	20,000		地代家賃	924,000	
総会関連事業参加費等	1,000	56,000	租税公課	0	
			事務用品費	50,000	
3 雑収入			支払手数料	60,000	
寄付金等	200,000		水道光熱費	7,000	
利息	10	200,010	理事会関係費	10,000	2,521,000
			3 予備費	0	0
当期収入合計(A)		3,546,010	当期支出合計(B)		3,454,000
当期収支出差額(A)-(B)					92,010
前期繰越支出差額(C)					324,950
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					416,960

第5号議案 理事の退任、新任、重任の件

理事の退任 井上 満郎 理事の新任 長谷川泰洋

上記以外の理事は重任とし、また、櫻井治男理事を中部担当副理事長とする

報告事項 新型コロナウイルス感染症流行下における会合等の開催に対する社叢学会の方針発出について 社叢インストラクター資格更新について その他

事務局から

- 何かと思うに任せない日々が続いておりますが、会員の皆さま方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ 静まり返ったゴールデンウィークの京都は不気味にさえ思われました。非常事態を何とか乗り越え、ようやく開催できた総会は、例年とは様変わり寂しさでしたが、それでも直接に会員の皆さま方のお顔を拝見しながらお話しすることに大きな安心感を感じました。画面越しの会話は、成立は致しますが、やはり生身の実感を伴いながらの対話の力に改めて気づかされました。
- 定例研究会等の会合は、1面に記しました方針の下で、細心の対策を講じながら開催して参りたいと考えています。会員の皆さま方におかれましても、体調不良の折にはご遠慮いただくなどのご配慮を頂きたく存じます。今後の予定、変更の情報などは社叢学会のホームページに掲載いたします。ご参照ください。
- 下記の通り、『社叢学研究』19号への投稿を募集しています。研究者の業績評価にもつながりますので、ぜひご投稿ください。論文には至らない準備段階の研究ノートや、短報、身近な活動、社叢の訪問記(紀行文)もお待ちしています。学術論文としての体裁を整えるための書き方や、引用文献、参考文献の扱い、記載の仕方については社叢学会のホームページに公開してい

ます(<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>)。お目通し下さい。

- 令和2年度(2020年4月～2021年3月)の会費を頂いた方には順次、会員証をお送りしています。お手元に届いていない場合は、お手数ですが事務局までお知らせください。
- 前号に、賛助会員神社の社叢紹介記事を掲載するとお知らせ致しましたが、紙面の都合上、来号からの掲載に致します。ご了承ください。

編集後記

Stay Home中ですか？ 庭の草取りですよ。時節柄、もう、びっくりするぐらい繁りに繁り。4月にはまずスズランをドクダミやヨモギの群れから救い出し。初夏のお楽しみのスズランだけど、今年はどうにも届けられず、ちょっと残念。

で、雨降りにはマスク作り。お蔵入りの端切れを引っ張り出してこつこつ、こつこつ。電化製品メーカーがマスクを作る時代なんだから、フジオカにできないわけがない！ って、意味不明。。

で、雨がやんで庭に出てみれば！！ いったいどの草取りをしたん？ ってなもんで、やる気をそぐぐらいの惨状。ベトナムではドクダミを食べるというのだけれど、う～ん、ちょっと勇気が。。実は、去年だったか、カラスノエンドウにそそられて食べてみたのだけれど、硬いわ！ 野生やもん、致し方なし。ヤギさんを飼おうかなと真剣に思う。。 (藤岡 郁)

掲 示 板

『原稿募集!』

『社叢学研究』第19号への投稿：論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。締め切りは、論文等10月30日(金) 活動報告等12月23日(水) いずれも必着。

* 書評欄では会員の皆さま方の著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

定例研究会 今後の予定

関 西：11月 春日山原始林観察会 3月 吉志部神社(吹田市)と周辺の里山林観察会
関 東：7月11日の関東定例研究会は延期となりました。開催日未定
中 部：10月25日(日)・26日(月) 尾鷲市の神社・社叢見学会
福岡県：未定

※ 今後の予定につきましては決まり次第、社叢学会HPに掲載いたします。

東日本大震災社叢復興支援事業報告書 8年間の全てを記録 頒価 3千円

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号
TEL・FAX 075-212-2973

URL <http://www.shasou.org> E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp

社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内
TEL080-1514-5032 E-Mail shasougakkai@hotmail.com